

名城大学における自己点検・評価活動への取り組み

本学における自己点検・評価活動は、平成3(1991)年2月8日付の大学審議会答申「大学教育の改善について」の中で示された「大学の自己評価について」を契機にスタートしました。そして、教育研究水準の向上に努めることを旨に具体的な活動に着手し、平成15(2003)年度まで、第1期から第6期の自己点検・評価委員会を組織して、継続的・系統的な点検・評価活動を実践し、その成果を刊行物として取り纏め、広く社会へ情報発信を行ってきました。

継続的な自己点検・評価活動の中で、“第三者による評価”として、平成12(2000)年度に財団法人大学基準協会の加盟判定審査を受け、維持会員として加盟・登録が承認されました。この結果により、本学における教育研究の質の向上を図る基盤が整備されると同時に、PDCAサイクルによる検証・改善行動の重要性が全学的に浸透し、さまざまな改革・改善行動がスムーズに進むようになりました。

	刊行物・刊行時期	活動内容など
	名城大学自己点検・評価報告書(第1期) -名城大学の現状と課題-(平成5年12月)	『現状を明らかにし、かつ、各部局等ないし本大学が抱える課題を明示する』との基本方針の下、現状把握のために、委員会が掲げた点検・評価項目について、各学部において各種調査を実施した。
	名城大学自己点検・評価報告書(第2期) -教員のプロフィール-(平成7年11月) -よりよい授業を目指して-(平成8年3月)	本学が置かれている状況と既設学部等の整備拡充計画及び将来の名城大学の展望と課題などを総合的に考慮した結果、「教育と研究」を主題に実施した。
	名城大学自己点検・評価報告書(第3期) 総合大学としての名城大学 -1996~1997-(平成10年5月)	第1次自己点検・評価委員会が提示した本学の現状と課題の中から、改善の進捗状況を点検し、再度、評価してみる必要から、総合大学としての特性を如何に発揮すべきかを明らかにした。
	名城大学自己点検・評価報告書(第4期) 大学改革の成果と今後の課題(平成12年6月)	第1次から第3次までの報告書の中で議題として挙げられた問題点等の改善状況を更に点検し、再度評価し、各部署等委員会で点検作業を実施した。
	名城大学自己点検・評価報告書(第5期) 教員のプロフィール2001(平成13年9月) 研究教育活動の概要と課題 -研究と教育の融合-(平成14年5月)	教育研究活動を中心に点検評価を行い、大学(学部学科・研究科)の研究活動と運営に係る現状と課題について将来の改善・改革に向けた方策を中心とした内容で実施した。
	名城大学自己点検・評価報告書(第6期) 教員のプロフィール2003(平成16年3月・5月) 自己点検・評価の原点を見据えて -検証・照顧脚下-(平成16年6月)	自己点検・評価委員が実際に各学部へ赴き、そこで委員会を開催することによる実地踏査を実施した。